

OTSU CITY MUSEUM OF HISTORY

# 大津 歴博 だより

2011  
No.85

大津市民憲章制定50周年記念 三館連携特別展

## 神仏います近江 日吉の神と祭

平成23年(2011)10月8日(土)~11月23日(水・祝)



重要文化財 木造僧形神坐像

大津市・地主神社蔵



大津市歴史博物館

### 三館連携特別展

## 神仏います近江 日吉の神と祭

近江の国は、神像、仏像の宝庫と呼ばれています。それは、比叡山延暦寺や園城寺、日吉大社をはじめとした全国的に著名な大寺院、大社が数多く鎮座していることと無関係ではありません。都と地理的に近く、歴史的な役割を長年担ってきたこれらの寺社があるからこそ、各時代の最新で最高峰の宝物が造られてきたのです。今回、信楽のミホミュージアムと、瀬田の滋賀県立近代美術館、そして当館が連携して、「神仏います近江」展を開催します。三館合同でこの豊かな近江の神仏の宝物を展示します。

近江の寺社のなかでも、日吉の神々は、延暦寺の守護神として崇敬をうけ、神と仏が融合した独特の世界を作ってきた社として知られています。この神々を祭る「山王祭」は、湖国を代表する勇壮な春祭りで、日吉の神々が、里に幸いをもたらすべく、一カ月半に及ぶ行事が展開します。その姿は、湖と山々が織り成す景観とあいまって人々を魅了し、絵画の画題にも取上げられ、多くの作品が残されてきました。

本展は、「神像」と「祭」の二部構成からなっています。第I部では、まず近江に伝来する神像を展示し、様々な神々のすがたを紹介します。めつたに目にするこの出来ない神の姿を堪能できるでしょう。さらに「日吉の神」の姿を、神像と山王曼荼羅からみていきます。そして、第II部では、日吉社の歴史を紐解くとともに、江戸時代の山王祭にかかわる作品を中心に、人々が神々に捧げてきた祭への情熱の一端を紹介します。

主 催 大津市／大津市教育委員会／大津市歴史博物館／神仏います近江

展実行委員会／京都新聞社

後 援 N H K 大津放送局／B B C びわ湖放送／エフエム滋賀／エフエム

京都

特別協力 湖信会／しがぎん経済文化センター／滋賀県神社庁／滋賀県立琵琶湖文化館／数珠巡礼会／比叡山延暦寺／日吉大社／びわ湖百八霊場会

会 期 平成二十三年（二〇一一年）一〇月八日（土）～十一月三日（水・祝）

休館日 二〇月二日、一七日、二四日、三二日、一月四日、七日、一四日、

二二日

観覧料 一般一、〇〇〇円（八〇〇円）、高大生五〇〇円（四〇〇円）、

小中生 無料

（一）は二五名以上の団体、市内在住の六五歳以上の方、障害者の方の割引料金  
※各館の観覧券の半券持参者は、団体割引適用

### 構成と主な展示作品

#### I. 神々のすがた

#### 神像の美

●重要文化財 木造女神坐像 大津市・建部大社蔵



●重要文化財 木造男神坐像 栗東市・小槻大社蔵



### 日吉の神

●重要文化財 木造僧形神像 大津市・地主神社蔵 (表紙)

●滋賀県指定文化財 日吉大宮 (十所権現のうち) 長浜市・鷺足寺蔵



### 山王曼荼羅の世界

●重要文化財 絹本着色日吉山王宮曼荼羅図 奈良市・大和文華館蔵



●絹本着色日吉山王十禅師曼荼羅図 東京都・真如苑蔵



第九四回ミニ企画展

趣味家謹製 !! 辰年の年賀状

■平成三年一月二五日(金)〜平成四年一月二五日(日)

毎年恒例の「大正・昭和の趣味家(コレクター)」による、年賀状の展覧会です。本年は、昭和三年と十五年辰年の年賀状の中から、選りすぐりをご覧いただきます。辰年といえば、龍を題材にした図柄が思い浮かびますが、趣味家たちは、通り一遍でない、愉快で楽しい図柄をたくさん作っています。年賀状作りの参考にお勧めのミニ企画展です!



初辰さん 昭和15年  
塩山可圭 食満南北画



め組辰五郎 昭和3年  
伊和友三 三代長谷川貞信画



竜宮城玉手箱 昭和3年 田中緑紅

第九五回ミニ企画展

大津の仏教文化12 西教寺の仏画

■平成四年一月二七日(火)〜三月二日(日)

天台真盛宗総本山の西教寺は、比叡山麓の坂本五丁目に所在する寺院です。聖徳太子の建立という伝承を持ち、平安時代には延暦寺を我が国の最大寺院に創り上げた慈恵大師良源が復興したといわれています。さらに、鎌倉後期には、円頓戒を重視した慈威和尚円観が西教寺に住み、天台戒律の寺として、京都・法勝寺とともにこの流派の寺院として興隆します。そんななか、独特の念仏をとなえた真盛上人が、室町時代に横川の僧侶に請われて、西教寺に入寺します。独自の教義に沿った念仏集団としてその後興隆していきました。

本寺は、比叡山伝来の数々の宝物が伝来していることで知られており、重要文化財を多数保有していますが、未指定のものはあまり紹介されていないのが現状です。

本展は、今まで展示されることの少なかった西教寺の大量の未指定の仏画のなかから、祖師に関わる絵画を展示します。本展により、西教寺の奥深さを感じていただけましたら幸いです。



重要美術品  
絹本着色慈威和尚像 一幅

今年も開催！「写真」と「思い出」で綴る百町の今昔

## 企画展 大津百町大写真展2011ーマチを記録することー

■一〇月二日(土)～十一月六日(日)

昨春秋、地域で活動する団体と共同で、大津百町を会場として、「大津百町のむかしといま」をふりかえる展示・イベントを行ないました。今回はその第二弾。題して「大津百町大写真展2011」。

本年も昨年同様、大津の中心市街地、通称「大津百町」の昔と今の姿にふれていただき、そこに、みなさんの記憶をまた新たにつけ加えることで、大津百町の過去と現在の記録を作り上げることが目的としています。会場内で繰り広げられる懐かしい風景や、現在の大津百町を切り取った写真をご覧いただくとともに、これを機会に百町内のまち歩きをお楽しみいただければ幸いです。

### ◇大津百町思い出写真展2011

【企画】大津市歴史博物館

大津市歴史博物館の所蔵写真から選りすぐった、大津百町の古写真と、みなさんの記憶（思い出）で構成する写真展です。スカイプラザ浜大津では、浜大津の賑わいや移り変わりの写真を、また大津百町館では、商店の賑わいを紹介するなど、それぞれの会場にあわせて、様々なテーマの古写真で展開します。ご覧いただいた皆さんの思い出や感想を写真のまわりに貼り付けてください。

### ◇大津祭なつかし写真展

【企画】大津市歴史博物館・大津祭曳山連盟

例年一〇月に大津百町で行なわれる大津祭の古い写真を展示します。現在は行なわれていない神輿渡御や、当時の賑わいの様子などから、かつての大津祭を振り返ります。

### ◇証言VTRでたどる百町のむかしがたり

【企画】いまきいとき隊

人々のキオクに残る百町の思い出を、映像によって再現する新しい試みです。懐かしそうに話される方々の様子を撮影した映像に、古写真を入れて一つの番組にしました。インタビュアーに登場するかつての百町のありさまや生活の様子を、みなさんのキオクに重ねあわせてご覧ください。

### ◇オールドオーツ「物語の誕生」2011

【企画】シネファンク

家庭のアルバムに眠る思い出の写真を手掛かりに、それにまつわるお話をインタビュアーが聞き取り、写真と物語で一枚のパネルを作り上げ、それを語り手と聞き手の共同作品として、みなさまにご覧いただけます。

### ◇大津百町まち遺産写真展

【企画】市中心市街地活性化協議会

大津百町内には、江戸末期から明治初期の町家や、旧大津公会堂などの近代建築物が数多く残されており、近年、それらが国登録有形文化財となっています。この写真展では、これら貴重な「まち遺産」の歴史や町の見どころを写真パネルで紹介します。百町のまち歩きとともに楽しみたいと思います。

### ◇大津百町2011ーまちなかの記録ー

【企画】成安造形大学写真メディア研究室

成安造形大学の学生たちが、現在の大津のまちなかの様子を記録することをテーマに、それぞれの問題意識・表現で作品制作を行なう写真展です。取材を通して見えた現在の大津百町をご覧ください。

会場は、旧大津公会堂・大津百町館・スカイプラザ浜大津・大津祭曳山展示館といった、百町内の各所で行ないます。会期中は、他の団体による催し物や、関連イベントも企画されています。詳細は、大津百町大写真展2011 (<http://otsui100c.shiga-saku.net/>)などで、逐一お知らせいたしますので、ご覧ください。

## II. 日吉山王祭

描かれた山王祭・山王祭礼図

●日吉山王祭礼図屏風 京都市・泉屋博古館蔵



## 山王祭の現在



宵宮落し



花渡り



午の神事



日吉馬場を下る神輿（西本宮）



山王鳥居を下る神輿（東本宮）



天台座主五色奉幣



栗津の御供



船渡御

大津歴博だより No.85  
平成23年9月8日

大津市歴史博物館  
〒520-0037 大津市御陵町2-2 ☎(077) 521-2100  
ホームページ <http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp>